

北と南の民謡コラボレーション

北は和楽器と力強い歌声、沖縄と奄美は古くから伝わる美声をご堪能ください。



島太鼓 仲宗根"サンデー"哲

国指定重要無形文化財
琉球古典音楽 よなは 徹

里兄妹
奄美民謡 明 里 歩寿

里兄妹
奄美民謡 明 里 朋樹

公益財団法人北海道文化財団
文化提携交流事業
民謡和楽器コンサート

北 彩 南 美

HOKKAI
DO
ZONON

2019年11月1日(金)

開場18:00/開演18:30

会場

北海道立道民活動センター [かでる2・7]
札幌市中央区北2条西7丁目

チケット

前売券	一般/¥1,500	高校生以下/¥500
当日券	一般/¥2,000	高校生以下/¥1,000

チケット発売・取り扱い

■公益財団法人北海道文化財団

□WEB予約 <http://haf.jp/ticket.php>
(公演チケット予約フォームより入力ください)

□TEL予約 011-272-0501
(平日 9:00~17:30)

■ローソンチケット

□ローソン店内Loppiで
購入可

○-チケ

民謡和楽器コンサート「北彩南美」
Lコード:11488

□TEL予約 0570-000-407
(オペレーター受付/10:00~20:00)



R A 佐藤 秀悌

民謡 KAZUMI

和心アライズ
和太鼓 しんた

和心アライズ
和太鼓 田村 幸崇

和心アライズ
津軽三味線 菅野 優斗

和心アライズ
津軽三味線 新田 昌弘

- 主催: 公益財団法人北海道文化財団
- 後援: 北海道 札幌市 札幌市教育委員会
- 制作協力: Ezo'n music

国指定重要無形文化財 琉球古典音楽
よなは 徹

島うた界における若手実力派歌者・よなは徹。琉球古典音楽野村流音楽協会 師範 光史流太鼓保存会 教師 沖繩三板協会 理事を務める。数多くの賞を受賞し、琉球古典音楽の師範でもあり、国指定重要無形文化財『組踊』の伝承者でもある。世界各地での公演をはじめ、森山良子、スピッツ、MONGOL800やビートルズのカバーアルバムへの参加もする。本格的な琉球古典音楽に真正面から取り組んだ自身の作品で、平成28年度文化庁芸術祭参加作品に選出されるなど、琉球古典・島うたのフィールドを越え、沖縄音楽界を支える一人である。



島太鼓
仲宗根"サンデー"哲

大阪府出身。10歳の時に石垣島出身の両親と白保に戻る。高校時代、新良幸人のバンドでドラムを務め、その後八重山高校郷土芸能クラブに入り島太鼓を手にする。1989年より幸人とコンビを組み本格的なライブ活動を開始。パーシャクラブでも島太鼓を中心とした構成でバーカッションを担当している。従来島太鼓とはひと味違うスタイルには定評があり、多くのミュージシャンから引っ張りだこ。一見いつも怒っているようにも見えるがそうでもない。



奄美民謡 唄
里 兄妹

【兄・朋樹】(妹・歩寿)
兄の朋樹は7歳からシマ唄と三味線を習い始める。その後、権威ある奄美民謡大賞少年の部で最優秀賞を受賞。そして民謡民舞少年少女全国大会において準優勝を受賞する。2003年小学生唄者としては初となるCDが発売され、期待の星として注目を浴びた。奄美大島だけでなく全国のイベントに参加する。妹の歩寿は4歳より唄を始め、2004年奄美民謡大賞において新人賞受賞。民謡民舞少年少女奄美連合大会で3年連続最優秀賞受賞。その後、奄美シマ唄日本一大会や奄美民謡大賞において大賞受賞する。元ちとせ氏が最年少受賞して以来、最年少記録を塗り替えた。聴き手の心の奥底に響いていく暖かい兄妹の歌声に今奄美民謡界で注目されている。



北と南の民謡コラボレーション

琉球王国時代から特徴的なリズムと旋律を持ち味とした沖縄音楽。独特な高音の三線と歌声で、どこか哀愁やわびしさを感じさせる奄美民謡。独特な声の出し方で「節」、「アクセント」で迫力を見せつける北海道民謡。歴史や生まれた場所は違えど、大切な島唄であり海への豊穡を祈願する唄として共通する部分が多い民謡。旋律、リズムを越え、新しい歴史を刻む北と南の民謡のコラボレーション!ぜひ和楽器の音色と共に最高の歌声をご堪能ください。



沖縄曲

秘伝仲風[ひでんなかふう]
北谷舞方[ちやたんめーかた]
道端三世相[みちばたさんじんそう]

奄美曲

朝花節[あさばなぶし]
ヨイスラ節
ワイド節

北海道曲

ソーラン節
江差追分
道南ナット節

※曲目に多少変更がある場合がございますのでご了承ください。



津軽三味線×和太鼓
和心ブラザーズ

津軽三味線奏者「新田昌弘」「菅野優斗」和太鼓奏者「しんた」「田村幸崇」からなる純和楽器グループ。津軽三味線全国大会で優勝を何度も果たす二人と、「ARASHI」のドームツアーなどに出演し、北海道では右に出るものはいない和太鼓奏者の二人。各自がソリストとして活動し、北海道を中心に道外や海外、最近ではラグビーW杯2019の選手入場時の演奏や、世界各国含め700回以上の公演を行う。激しさと美しい旋律を兼ね備えた「津軽三味線」、躍動感と素早いバチさばきを兼ね備えた「和太鼓」、意地とプライドをかけた奏者のバトルは各地で好評を得る。

民謡
KAZUMI

北海道江差町生まれ。8歳の時、江差追分を習い始め、翌年の江差追分全国大会子供の部に出場し3年連続優勝し、一般の部では17才で優勝する。またCMソングや日本ハム×千葉ロッテ戦の国歌斉唱、大黒摩季氏プロデュースによる「ソーランBeat」は、YOSAKOIソーラン祭り公式応援ソングにもなっている。現在は2004年よりSTVラジオにて「香澄の江差恋唄」の番組を担当している他、民謡の伝承普及活動のため、ジャンルを超えた新しいスタイルの民謡など、地元江差町より発信をしている。



AMAMIOSHIMA



R 八
佐藤 秀悌



7歳から民謡を唄い、11歳に尺八と出会う。民謡伴奏を中心に演奏活動を広げ、中国西安市、カーネギーホールでの演奏の他、YOSAKOIソーラン祭りの楽曲にも数多くレコーディングを行う。平成24年 第44回北海道新聞杯全道民謡決勝大会江差追分の部優勝・第52回日本郷土民謡民舞全国大会(主催:一般財団法人日本郷土民謡協会)・第1回尺八グランプリの部グランプリ大賞(日本一)受賞・平成25年 夕張国際ファンタスティック映画祭オープニングアクト(ソロ演奏にて開幕)・平成25年 夕張市市長奨励賞 拝受

■舞台監督・照明: クレアス株式会社 ■音響: 株式会社音響スタッフ

公益財団法人北海道文化財団

■WEB <http://haf.jp> ■TEL 011-272-0501 (平日 9:00~17:30)

お問い合わせ

